



# FUTABA JOURNAL

静岡市葵区追手町10-71  
静岡 雙葉学園  
新聞部  
電話(054)255-0305  
印刷所 ササキデザイン社

## 雙葉祭入場制限緩和 賑わいを取り戻す一歩

九月十六日(土)、九月十七日(日)の二日間、雙葉祭が行われた。今年のスローガンは「Sparkle」。今年は創立二〇周年であり、さらに新型コロナウイルスによる入場制限が緩和されたこともあり、例年以上に盛大に行われた。



▲ フィナーレで

九月十六日(土)、十七日(日)に雙葉祭2023「Sparkle」が開催された。このスローガンには「光輝く」「輝かせろ」という意味がある。実行委員長の高木彩那さんの言葉によると、「雙葉生一人一人が個々の輝きを放ち、お互いを輝かせ、大きな光となって皆で作りに上げていく雙葉祭でありたい」という思いが込められている。今年度は、他校の中高生の来場が可能になるなど、昨年度に比べ様々な制限が緩和された雙葉祭となった。講堂発表の鑑賞への予約は不要になったことで、よりたくさんの方々が来場し、発表を観ることができた。マスク着用も義務もなく、

雙葉生の生き生きとした笑顔はもちろん、来場者が楽しそうに校内を回る様子も表情からも読み取れた。後援会バザーやグラウンドのフードコートも大盛況であった。



▲ 色とりどりの風船もフィナーレを盛り上げた

さを実感しているからこそ、雙葉祭を皆で創り上げ、時間を共にすることができたことへの感謝と喜びは大きい。雙葉生全員がそれぞれの輝き方で輝き、互いを照らした二日間はまさに「星の光」のようだった。

今年の雙葉祭も無事に終わり、幕を閉じた。そんな雙葉祭を毎年締めくくるフィナーレには、雙葉祭実行委員のフィナーレ班が関わっている。新聞部は、二人のフィナーレ班の班長である村山華英さんにインタビューを行った。



▲ 歴代の雙葉祭パンフレット

▼八月二十三日、慶應義塾高校野球部は夏の甲子園で一〇七年ぶりに全国制覇を果たした。優勝と一緒に話題になっていたのは選手の髪型だ。野球部の髪型といえばスーパースターのイメージが強いが慶應野球部は髪型が自由である。慶應野球部は今年「常識を覆す」をテーマとしていた。▼コーチの森林監督は「好きなことこそ自分で考えないと楽しくない」と自主性を尊重している。プレーに支障がない限り髪型は自由で、後輩が先輩の名前を君付けで呼ぼうと、敬意があれば構わない。野球を楽しむことを第一とし野球の固定概念にとらわれない球児の姿がテレビに映し出された。ネット上でも「坊主だから強いわけじゃない」「清潔感があつて良いと思う」など肯定的な意見が多く、固定概念について考えるきっかけとなった。▼固定概念で言えば、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方も今は変化している。男性も家事をするし、女性も働く。家庭のあり方も時代と共に変化する。共にこの社会で生きていくには男女が協力することが大事なのだ。▼これからの時代を生きる私たちは固定概念にとらわれない柔軟な考え方を大切にし、自分を自由に表現するために。

## 石の声

### 高3有志

高3有志は駄菓子やハンバーガーなどを販売する飲食店を行った。今年は昨年より出店数が増え、より多くの人々が立ち寄っていた。高3生は今年が最後の雙葉祭であり、店には後輩や保護者の方々が来店し、大行列を作っていた。

店内は普段の教室の雰囲気から一変し、それぞれの店に合わせた装飾や音楽がかかっていた。照明や黒板アートなど細部までこだわられた装飾であった。店の外では常に行列ができており、開店早々から売り切れている商品もあった。店を



▲ 大繁盛の高3有志

### 実行委員長へインタビュー

新聞部は雙葉祭実行委員長の高木彩那さんにインタビューをした。

Q1 今年の雙葉祭はどのような感じでしたか。  
A1 コロナ感染症に関する制限が緩和され、飲食物の提供を増やしたり、小学生など外部の方を多くお招きできたりしました。また、本校創立二〇周年ということでフィナーレや装飾を例年と少し変えました。

Q2 雙葉祭を作り上げる上で意識したこと。  
A2 みんなで作りに上げていく雙葉祭を意識しました。まとめる上で高2生自身が



▲ 雙葉祭実行委員長の高木彩那さん

自信を持って活動できるように積極的に声掛けも行いました。  
Q3 雙葉生へ一言。  
A3 雙葉祭には一人一人の存在がとても大切です。雙葉祭が成功できたのはみなさんのおかげです。また、先生方、保護者のみなさんありがとうございました。これらに感謝しながら、雙葉祭にできました。

### 二〇周年記念上映「お蔭様で」

九月二十八日(木)、講堂にて映画「お蔭様で」を上映した。上映は前期終業式の後に行われ、雙葉生だけでなくOGの方々も映画を視聴した。

彼女が厳しく険しい修業で英語を教え、七十五年間を日本で過ごしたアイルランド人修道女、シスター・パスカルの波乱万丈な生涯を振り返るドキュメンタリー映画である。

### フィナーレ

「Thanks」に変わるところは、皆に喜んでもらえるようにと思いを込めて考えました。

Q1 今年のフィナーレは装飾を大きくして迫力が出たように感じました。また、最後に「20th」の文字が「Thanks」に変わるところは、皆に喜んでもらえるようにと思いを込めて考えました。

### 装飾

今回、新聞部は雙葉祭実行委員会の装飾班班長の石原亜依さんにインタビューを行った。

Q1 装飾のテーマ。  
A1 「彩り」です。階段を様々な色で装飾しました。

Q2 込めた思い。  
A2 昨年は、時間が足りず間に合わなかった装飾もありました。そこで今年は昨年できなかった装飾や、二〇周年を記念した装飾を作成しました。また、今年には多くの人が雙葉祭を訪れるため写真映えし、印象に残りやすい大きく豪華な装飾を意識して作りました。



静岡雙葉創立二〇周年を迎えた記念特別企画、「私たちの雙葉夢プランchallenge」の結果発表が行われた。

生徒の投票数が最も多かった中二西「FB」には「生徒投票賞」が贈られた。理事長先生、校長先生が選みとしてより広まって行くことを期待したい。

賞はそれぞれ、中一南、高2北に贈られた。「審査員特別賞」は、中学生の部、高校生の部とそれぞれ、中一北、高2南に贈られた。全体として、静岡雙葉の一大行事の雙葉祭についてのプランも多く寄せられた。日々の生活から地域との関わりまで幅広い分野での個性豊かなプランが集まった。静岡雙葉ならではの取り組みとしてより広まって行くことを期待したい。

一面担当 美緒  
二・三面担当 真唯  
四面担当 さら



個々が輝き、互いを輝かせ、大きな光となった

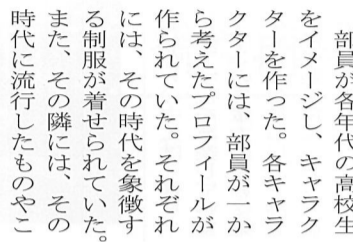
2023

雙葉祭

書道部

書道部は、教室での作品展示と体育館での二回の書道パフォーマンスを行った。

書道パフォーマンスでは、土曜日は「できこないをやらなくちや」、日曜日は「揮啓、少年よに合わせ巨大な作品を書き上げた。大きな作品であったが、細部まで意識を割かれていた。完成すると、自然と観客から惜しみない拍手



完成した作品

放送部

放送部の今年度のテーマは「各年代ごとの流行」だ。全体的にポップな装飾であった。



オリジナルキャラクターの説明をする放送部員

地学部

で行われ、身近な星座の詳細や逸話について説明された。



星座の説明をする地学部員

地学部は部員がそれぞれ書いたレポートの展示と、プラネタリウムでの星座の解説を行った。

お笑い同好会

お笑い同好会は、お笑いライブや同好会の紹介などのポスター展示を行った。



人々を魅了したお笑いライブ

ソフトテニス部

ソフトテニス部では例年と同様に今年も福祉バザーを行った。

茶道部

三階和室にて茶道のお点前を体験することが出来た。各回約四十分少人数で行われた。



華やかさ溢れる茶道部

吹奏楽部

吹奏楽部は、今年の雙葉祭のテーマ「Sparkle」にちなんで未来に向けて出発するイメージで選曲を行った。

軽快なファンファーレが始まり、誰もが一度は聴いたことのある曲が演奏され、ポップな音色が校庭中に響き渡った。



演奏でお客さんを楽しませた

クッキング部

クッキング部は「プリンセス」をテーマに部員が作った色とりどりのお菓子を展示した。



プリンセスの世界観を表現

ハープ部

今年創部六十周年を迎えたハープ部のテーマは「ユニバーサルスタジオジャパン」であった。



ハープ演奏中の様子

創作ダンス部

創作ダンス部は、「Lion's」をテーマとした発表を行った。

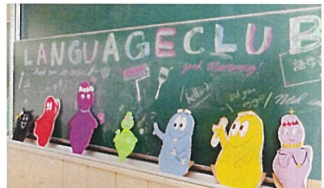


圧巻のダンス

高2までの部員が学年ごとにダンスを披露し、その後は部員全員で躍った。

語学部

語学部では「飛行機と世界」をテーマにした展示発表と型抜き体験を行った。



色とりどりの展示

コーラス部

コーラス部は、「かくて神の栄光は」「明日への手紙」の合唱とミュージカル「グレイテスト・シヨーマン」の上演を行った。

コーラス部は、バーナムの進む道が注目された。舞台化がされていないため、台本に加えて劇中歌の歌詞も部員が制作。

文化研究部

日本文化研究部は「大河ドラマ」をテーマに部員全員の書いたレポートを展示した。

演劇部

演劇部は、「LOVE PLAN」を上演した。

写真部

写真部は「冒険」をテーマとした写真の展示とフォトスポットを行った。

写真部

写真部が力を合わせて制作した黒板アート



人気のフォトスポット

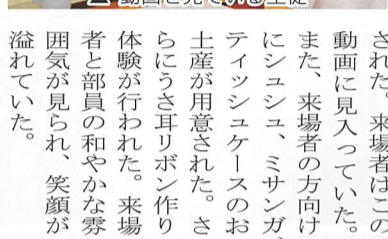
観客は、曲ごとに可愛く、激しく踊る部員の姿に魅了された。

観客の手拍子で盛り上がり舞台は幕を閉じた。



世界の数々の文字の書き方や料理、観光スポットや各国の有名な人が書かれた模造紙が展示された。イラストや写真が使われた展示には一つ一つに来場者が立ち止まっていた。室内はパーパのキャラクターや風船が飾られ、色とりどりのホワイボードには韓国アイドルの音楽映像が流れたりイラストが描かれたり明るい雰囲気だった。部員はお揃いの部活Tシャツを身につけ、笑顔で来場者を迎えた。

家庭部は、今年、「Road」をテーマとし、一九六〇年代を舞台とした展示が行われていた。教室は学年ごとの作品とたくさんのレトロ装飾で彩られていた。新たな企画として、部員が製作した衣装を雙葉生が実際に撮影した動画が流された。来場者はこの動画に見入っていた。また、来場者の方向けにシジュ、ミサンガ、ティッシュケースのお土産が用意された。さらに小学生限定の体験も行っており、タッセルの匂い袋を作ることも出来た。訪れた小学生は部員に優しく教えられ、楽しそうに体験に取り組んでいた。



教室は学年ごとの作品とたくさんのレトロ装飾で彩られていた。新たな企画として、部員が製作した衣装を雙葉生が実際に撮影した動画が流された。来場者はこの動画に見入っていた。また、来場者の方向けにシジュ、ミサンガ、ティッシュケースのお土産が用意された。さらに小学生限定の体験も行っており、タッセルの匂い袋を作ることも出来た。訪れた小学生は部員に優しく教えられ、楽しそうに体験に取り組んでいた。

は歌謡と歌声が人々の心を動かし、前向きな気持ちにさせた。ミュージカルの舞台は十九世紀半ばのアメリカ個性ある人材を起用したショービジネスを始めた。

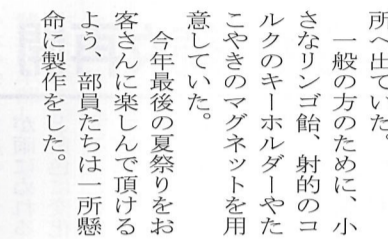


また、教室には手作りの甲冑が飾られた。段ボールで作られた甲冑と屏風は迫力があり、展示されたものの中でも大きな見所であった。さらに小学生限定の体験も行っており、タッセルの匂い袋を作ることも出来た。訪れた小学生は部員に優しく教えられ、楽しそうに体験に取り組んでいた。

### 美術部

美術部の今年の団体制作のテーマは「夏祭り」、個人制作のテーマは「ものを描く」だった。夏休みや放課後の時間を使い、部員全員で作上げた団体制作が見所だ。入口にある雙葉神社の鳥居に苔を生やし本物に似せた。また天井や床も全て手作りでお祭りのポスターも全て手作りだ。ひとつひとつのポスターには各部員の個性が出ていた。屋台は

個人制作のテーマは「ものを描く」だった。夏休みや放課後の時間を使い、部員全員で作上げた団体制作が見所だ。入口にある雙葉神社の鳥居に苔を生やし本物に似せた。また天井や床も全て手作りでお祭りのポスターも全て手作りだ。ひとつひとつのポスターには各部員の個性が出ていた。屋台は



一般の方のために、小さなリング飾、射的のホルクのキーホルダーやたこやきのマグネットを用意していた。今年最後の夏祭りをお客さんに楽しんで頂けるよう、部員たちは一所懸命に製作をした。

### 化学部

化学部では二日間計七回のサイエンスショーや、三つの班の研究発表、スライム作りなどの体験を行った。サイエンスショーは家でも出来る実験や本格的な薬品を使った実験など、各学年の個性溢れる内容だった。クイズを交えたり、観客が実験に参加し

たりし、化学を身近に感じることが出来た。研究発表はコーヒー班、味噌班、抗酸化班に分かれて行った。それぞれの結果を表やグラフを用いて模造紙にまとめた。年齢に関係なく取り組むことが出来る体験では次々と来場者が入り、にぎわいをみせた。楽しく化学に触



緊張感の極度に高まった教室の中、札が読み上げられると同時に素早く選手の手が札を弾く。試合は迫力満点であった。土曜日二回目の団体戦は、高校3年生の参加する最後の試合となった。紅葉や鹿おどし、灯笼などの日本庭園をモチーフにした装飾は、かるたの練習と並行しながら全力を注いで制作されたという。

### 競技かるた部

緊張感の極度に高まった教室の中、札が読み上げられると同時に素早く選手の手が札を弾く。試合は迫力満点であった。土曜日二回目の団体戦は、高校3年生の参加する最後の試合となった。紅葉や鹿おどし、灯笼などの日本庭園をモチーフにした装飾は、かるたの練習と並行しながら全力を注いで制作されたという。

### 陸上競技部

陸上競技部では日々の活動の様子、試合の結果、陸上競技の種目について展示発表された。今年コロナの規制緩和により、三年ぶりに肺活量の体験が行われた。また身長や握力の測定も行われ、教室は賑わっていた。より良い結果が出るように部員からアドバイスをもら

### 山岳部

山岳部と切っても切り離せない存在である山小屋と日本に限らず世界中で人気のジブリを組み合わせた世界。教室全体が山小屋になっており、中をよく覗いてみると、隠れジブリキャラが。山の自然を感じさせつつ、そこにジブリ要素を加えたことでよりワクワク感を抱かせる装飾だった。

### 新聞部

新聞部では、講義発表する部活動から展示中心の部活動・団体まで幅広く取材を行い、速報を作成した。雙葉祭での作品や舞台の活躍一つ一つを今年の雙葉祭のテーマである「Sparkle」のように輝かすことができるように、部員一同心を込めて記事書き、発信していくことを意識した。

### 聖歌隊

聖歌隊の今年のテーマはギリシャ神話に登場する女神の名前「Eris」。来場して下さった方々に希望を与えられるようにという意味が込められている。そのテーマの下、歌やハンドベル、トーンチャイムを使った計八曲のコンサートが聖堂で行われた。会場では全部員による二部合唱から一年年のみの合唱など、部員一丸となった歌声が響き渡った。披露したうちの一曲「Oh, Happy Day」

### 数学同好会

数学同好会は「カジノ」をテーマとしたゲームの体験を行った。また、昨年実施した数学に関するアンケートの結果や、普段考えたことのないアポロチョコの苺チョコとミルクチョコの比率の研究なども行っていた。数学

### バレーボール部

バレーボール部は、清水高校を招いての招待試合を行う予定であったが、感染症対策のため、急遽部内での紅白試合に変更された。この試合が引退試合となる高2生にとってこの招待試合が無くなってしまうことは非常に残念な知らせであったが、普段の試合にはあまり参加しない中学生にとり、「紅白試合に参加できるのは良い機会」と前向きに

### 文芸部

文芸部は「RPG」をテーマとし、ゲームの世界のように好奇心をくすぐる作品を数多く展示した。工夫された装飾や個性溢れる小説とイラスト、

### バスケットボール部

雙葉祭二日目の十七日に、藤枝北高校と招待試合を行った。事前のインタビューでは、「毎日の練習や土日の練習試合の成果が

### 美術部

美術部の今年の団体制作のテーマは「夏祭り」、個人制作のテーマは「ものを描く」だった。夏休みや放課後の時間を使い、部員全員で作上げた団体制作が見所だ。入口にある雙葉神社の鳥居に苔を生やし本物に似せた。また天井や床も全て手作りでお祭りのポスターも全て手作りだ。ひとつひとつのポスターには各部員の個性が出ていた。屋台は

### 家庭部

家庭部は、今年、「Road」をテーマとし、一九六〇年代を舞台とした展示が行われていた。教室は学年ごとの作品とたくさんのレトロ装飾で彩られていた。新たな企画として、部員が製作した衣装を雙葉生が実際に撮影した動画が流された。来場者はこの動画に見入っていた。また、来場者の方向けにシジュ、ミサンガ、ティッシュケースのお土産が用意された。さらに小学生限定の体験も行っており、タッセルの匂い袋を作ることも出来た。訪れた小学生は部員に優しく教えられ、楽しそうに体験に取り組んでいた。

### 文芸部

文芸部は「RPG」をテーマとし、ゲームの世界のように好奇心をくすぐる作品を数多く展示した。工夫された装飾や個性溢れる小説とイラスト、

### バレーボール部

バレーボール部は、清水高校を招いての招待試合を行う予定であったが、感染症対策のため、急遽部内での紅白試合に変更された。この試合が引退試合となる高2生にとってこの招待試合が無くなってしまうことは非常に残念な知らせであったが、普段の試合にはあまり参加しない中学生にとり、「紅白試合に参加できるのは良い機会」と前向きに

### 文芸部

文芸部は「RPG」をテーマとし、ゲームの世界のように好奇心をくすぐる作品を数多く展示した。工夫された装飾や個性溢れる小説とイラスト、

### 文芸部

文芸部は「RPG」をテーマとし、ゲームの世界のように好奇心をくすぐる作品を数多く展示した。工夫された装飾や個性溢れる小説とイラスト、

### 文芸部

文芸部は「RPG」をテーマとし、ゲームの世界のように好奇心をくすぐる作品を数多く展示した。工夫された装飾や個性溢れる小説とイラスト、

### 文芸部

文芸部は「RPG」をテーマとし、ゲームの世界のように好奇心をくすぐる作品を数多く展示した。工夫された装飾や個性溢れる小説とイラスト、

### 文芸部

文芸部は「RPG」をテーマとし、ゲームの世界のように好奇心をくすぐる作品を数多く展示した。工夫された装飾や個性溢れる小説とイラスト、

### 文芸部

文芸部は「RPG」をテーマとし、ゲームの世界のように好奇心をくすぐる作品を数多く展示した。工夫された装飾や個性溢れる小説とイラスト、



# 創部60周年 - 50台のハーブアンサンブル -

8月12日(土)、清水文化会館マリナートにて「創部60周年記念コンサート - 50台のハーブアンサンブル」が行われた。創部60周年にあたる記念の節目に、現役ハーブ部員17名と共に高3有志やOGの方々を含め総勢64名での演奏になった。当日、会場には多くの観客が来場し、お祝いムードに溢れていた。

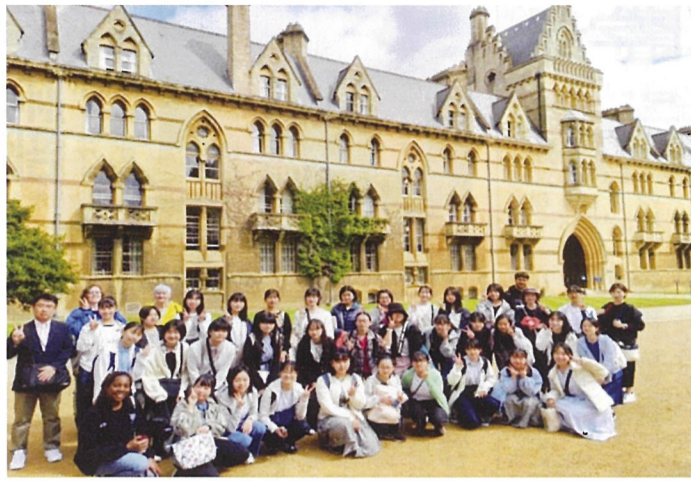
コンサートは3部構成となっていて、1部ではきらきら星変奏曲やジブリセレクション、ディズニーセレクションなどが演奏された。司会の方による一曲一曲行われた丁寧な説明により、曲に対する関心が高まり、新鮮な気持ちで聞くことができた。1部は現役部員のみで演奏され、丁寧な音色からは日々の練習や夏合宿の練習の成果が感じられた。2部では、OGのハーブ奏者である斉藤樹里さんを中心とした室内楽が演奏された。ヴァイオリンやフルートなど他楽器との合奏で、7名が向かい合って演奏する姿は圧巻だった。3部では、現役部員、高3有志、OGによる50台のハーブアンサンブルであった。ステージいっぱいに



△ 50台のハーブによる演奏

配置されたハーブはとて華やかで、多くの人が魅了された。

ホールに響くハーブの音色は、耳から全身に注ぎ込まれているようで、ハーブの音色を全身で感じる事ができる演奏会であった。



▲ オックスフォード大学にて

## 異文化交流で 豊かな時間

多くの海外研修や異国との交流が実現した今年、三年ぶりに渡英が叶ったイギリス研修とシンガポールの姉妹校との交流の様子をより深く掘り下げる。

### 3年ぶり 続々再開 喜び胸に

七月二十五日にはコックスウォル村に訪問した。道路に羊が歩いていたり、イギリスの田舎の風景を楽しんだ。家に使用されているレンガの色が雨にぬれると黄色に変化するのを知った。住宅の様式についても学んだ。

七月二十七日午前にはロンドンにある大英博物館へ行った。ここでは、古代ギリシャ・ロー

マの石像やエジプトのロゼッタで発見された石柱、ロゼッタストーンの展示などを見学した。また、ヨーロッパの歴史についても学んだ。午後にはウエストミンスター寺院ビッグベン、トッファルガール広場へ。一時間に一回鳴る鐘の音を聞いた。広場周辺にあるお土産屋を物を買ったりした。また、町の散策をした。

八月一日には、グロスター大聖堂へ行った。イングランドの王であるエドワード二世のお墓を見大聖堂内のステンドグラスへ行った。道中、劇団の俳優さんに偶然遭遇し、ロミオとジュリエットの

七月十八日(火)、六・七時間目に講堂にて未来への志を育む講演会が行われた。今年度は、文化人類学者である上田紀行先生をお招きした。「自分の『ワクワク』を見つけよう！ 自ら輝き、世界を輝かせる生き方へ」というテーマ。日本人の若者の自己肯定感の低さや海外での経験についてお話を伺った。



▲ インタビューの様子

### 上田紀行先生講演 未来への志を育む講演会

新聞部は、講演後に上田先生にインタビューを行った。

Q 文化人類学の魅力。 A 違う社会と出会うことで、狭い世界を生きている私たちにとって自分とは違うものと触れ合うことは大切だと思います。見てみると気づけない面白さがあります。

Q 私たちが解決すべきこと。 A ジェンダー、世代間格差、DV、虐待など、社会には様々な問題があります。でも、何か一つの分野の問題に取り組む人は他の分野の人と繋がっています。その人が一番心惹かれるものに取り組みべきだと思います。

マの石像やエジプトのロゼッタで発見された石柱、ロゼッタストーンの展示などを見学した。また、ヨーロッパの歴史についても学んだ。午後にはウエストミンスター寺院ビッグベン、トッファルガール広場へ。一時間に一回鳴る鐘の音を聞いた。広場周辺にあるお土産屋を物を買ったりした。また、町の散策をした。

八月一日には、グロスター大聖堂へ行った。イングランドの王であるエドワード二世のお墓を見大聖堂内のステンドグラスへ行った。道中、劇団の俳優さんに偶然遭遇し、ロミオとジュリエットの



▲ 大聖堂を見学する生徒

七月十八日(火)、六・七時間目に講堂にて未来への志を育む講演会が行われた。今年度は、文化人類学者である上田紀行先生をお招きした。「自分の『ワクワク』を見つけよう！ 自ら輝き、世界を輝かせる生き方へ」というテーマ。日本人の若者の自己肯定感の低さや海外での経験についてお話を伺った。

新聞部は、講演後に上田先生にインタビューを行った。

Q 文化人類学の魅力。 A 違う社会と出会うことで、狭い世界を生きている私たちにとって自分とは違うものと触れ合うことは大切だと思います。見てみると気づけない面白さがあります。

Q 私たちが解決すべきこと。 A ジェンダー、世代間格差、DV、虐待など、社会には様々な問題があります。でも、何か一つの分野の問題に取り組む人は他の分野の人と繋がっています。その人が一番心惹かれるものに取り組みべきだと思います。

### 始動！ 新生徒会

令和五年度後期生徒会会長の鈴木香南さんと副会長の足野真子さんにインタビューをした。

Q1 スローガン 「Horizon」に込めた思い。 A 「水平線」という意味のように私たちの可能性が水平線のように続くという意味を込めました。

Q2 会長、副会長になった理由。 A 学校や地域に貢献する活動をし、学校の代表としてやりがいを感じたかったからです。副会長 会長を支え、共

顔合わせを終え、校舎を案内しながらお互いについて話を弾ませた。昼食は教室で、輪になりバディだけでなくクラスの子とも一緒に笑い合った。C H I Jで制作された学校紹介ムービーも鑑賞し、「So Cute!」など声を上げる雙葉

### 姉妹校来校

六月十五日(木)、十六日(金)の二日間、シンガポールにある姉妹校のC H I Jから十二名の生徒が来校し、中三生を中心に交流を楽しんだ。

C H I Jは本校と設立母体同じ姉妹校。身につけた校章は一緒に、実行委員やバディの生徒は打ち合わせを重ね、おもてなしの準備を進めてきた。姉妹校の生徒は国内の姉妹校の訪問や観光を楽しんだ後、本校に来校した。

顔合わせを終え、校舎を案内しながらお互いについて話を弾ませた。昼食は教室で、輪になりバディだけでなくクラスの子とも一緒に笑い合った。C H I Jで制作された学校紹介ムービーも鑑賞し、「So Cute!」など声を上げる雙葉

生も見られた。午後に行われた交流会では英語で一緒に「御手の中」を歌ったり、玉入れなどのゲームをしたりして距離を縮めた。中三生の一人は「英語でコミュニケーションを取るの難しかったけれど、お互いについて知り、別れが名残り惜しいほどに濃い時間が過ごせた」と振り返った。設立母体同じである姉妹校との交流を通して、他国の文化を知ると共に海を越えた強い繋がりを築くことができた。

新聞部は、講演後に上田先生にインタビューを行った。

Q 文化人類学の魅力。 A 違う社会と出会うことで、狭い世界を生きている私たちにとって自分とは違うものと触れ合うことは大切だと思います。見てみると気づけない面白さがあります。

Q 私たちが解決すべきこと。 A ジェンダー、世代間格差、DV、虐待など、社会には様々な問題があります。でも、何か一つの分野の問題に取り組む人は他の分野の人と繋がっています。その人が一番心惹かれるものに取り組みべきだと思います。

### 青春の軌跡

石田菜保先生

教師を志した理由。 A1 元々、実家がホームステイを受け入れたり、遠い親戚がアメリカに居たりしていたため、外国へ行きたいと思っていた。大学での一年間のカナダ留学中に日本語教師を経験し、言語を教える楽しさを知りました。自分が学んだ事を活かせるこの職種に就きました。

Q2 学生時代の部活動。 A2 吹奏楽部に所属していました。低音楽器で

あるチューバに魅了された。この楽器を選びました。前に出る楽器ではないですが、吹く人が少ないため一人一人の責任が大きいです。

Q3 自慢話。 A3 自分の学生時代の作品が今も飾られていることです。また、約六年間保健委員を務め、高2では委員長になったことです。

Q4 憧れの人。 A4 全ての人の様々な所が私の憧れです。

Q5 座右の銘。 A5 ラインハルトニーバーの祈りです。「変えられないものを変える勇



▲ 後期生徒会会長 鈴木香南さん(左)と副会長 足野真子さん(右)

に切磋琢磨し、時間をかけて企画した活動をする中で自身にとって良い経験になると思ったからです。

Q3 雙葉生に一言。 A3 企画は雙葉をより過ごしやすくするためのものなので、皆さん一人一人の貴重な声を頂けたら嬉しいです。



▲ 2日間で強い絆が築かれた

大会名	種目	順位	選手名
第三十五回中部日本個人重奏コンテスト本大会	打楽器三重奏	銀賞	吹奏楽部
静岡県中部高等学校総合体育大会	女子シングルス第3位	高2南	成島かれん
第一回奥の細道むすびの地 全国競技かるた大会	B級準優勝	高2東	山内真理子
静岡県競技かるた中学生選手権	準優勝	中2東	木脇 寧祐
第七十回NHK杯全国高校放送コンテスト	静岡県大会中部地区予選		
アナウンス部門入選	高2北 鈴木 香南		
朗読部門入選	高1北 加藤 瑛		
第四十五回全国高等学校選手権大会	静岡県二次予選 第5位		
静岡県中部高等学校水泳競技大会	女子400m個人メドレー	第2位	競技かるた部
第一回全国競技かるた千葉大会	C級第3位	高2東	越潮 結衣
第十四回SJTFL信杯サマーJr テニストーナメント大会	第3位	高2南	成島かれん
山形県一輪車競技大会	レース部門 準優勝	高2北	築山 亜弥
静岡県中部高校陸上競技大会	100mハードル	第1位	高3西 天野 琴葉
	三段跳	第3位	高1西 榛葉ひなた
	四×100mリレー	第1位	高2北 橋本 詩音
		第2位	陸 上部
		(天野、橋本、藤本、白井)	
第七十回全国高等学校総合体育大会	四00m	第4位	高3東 白井 千晴
	三段跳	第3位	高2北 橋本 詩音
第七十八回静岡県陸上競技選手権大会	四00m	第1位	高3東 白井 千晴

編集後記

今月号は、雙葉祭をメインとした記事です。気づけば、あつという間にもう後期。今年も残りわずかとなってしまいましたが、新聞部員として、また、一人の雙葉生としてみなさんに素敵な記事をお届けすることができるといいなと思います。次号もお楽しみに。

S・M